

1. 基本情報（令和5年3月1日現在）

人口	30,736人	保護率	1.243%
----	---------	-----	--------

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	0/月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	0/月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	0/月				
就労・増収率（%）	0				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
×	○	○	○	×	○

3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 委託（公益財団法人 喝破道場） 就労準備支援事業も同一の事業者へ委託しており、必要に応じて事業間相互の連携が可能である。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮支援担当者が対応。 一定の住居を持たない生活困窮者に対し、一定の期間内に限り、宿泊場所の供与、食事の提供及を行うとともに、衣類等の日用品の支給又は貸与及び定期的な入浴等の日常生活上必要なサービスを提供する。
事業費	341千円
その他特記事項	

4. 事業の立ち上げプロセス

開始前

事業開始以前から少数ではあるが、住居を持たない市民から短期間生活できる場所の提供についての相談が上がるようになった。
幸い相談者の親族や知人等を頼ることで対応できたが、今後このような状況になった場合紹介できる施設の持ち合わせがなかった。

事業の二一ズ【1年前】

一時生活施設について相談があるものの件数的には少数で、過去相談のあった事例では何とか解決することができていた。
そのような状況もあり実際のこの事業に取り組むべき二一ズがあるか検討を行った。

施設の掘り起こし【10か月前】

当市にはビジネスホテル等の宿泊施設はあるが、生活困窮者向けの生活の基盤を安定させ支援を行うことのできる施設は無く、市外の施設も含め、宿泊するだけでなく宿泊場所の供与、食事の提供及を行うとともに、衣類等の日用品の支給又は貸与及び定期的な入浴等の日常生活上必要なサービスを提供できる施設の検討を行った

委託先の内定【6ヶ月前】

・委託先については、先に就労準備支援事業を委託していた公益財団法人 喝破道場への委託を検討。
喝破道場と調整を行った結果、受諾可能とのことにより翌令和2年度当初予算にて要求。

令和2年4月 事業開始

事業実施

・実績：利用者2名（令和2年度）令和3年度以降現在まで実績なし
・短期間ではあるが住居等を提供することにより、その期間を利用し新たな居所を見つけ、生活を安定させたうえで、新たな居所を基盤として、就労を含め生活上の再出発を図ることができた。